



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
YAMANASHI NETWORK
FOR DIVERSITY & INNOVATION

ナシダイ Researchers Vol.9

発行

2022年2月

国立大学法人 山梨大学 男女共同参画推進室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL:055-220-8350 FAX:055-220-8351

Email: danjo@yamanashi.ac.jp

URL: <https://www.danjo.yamanashi.ac.jp>

印刷: 港北出版印刷株式会社

協力: 山梨大学

進路を模索し、大学進学を目指し
日々努力する学生諸君。
各自が未来に何を描き目標を定め
何を大学で専攻するだろうか。
そこで、
すでに目標を決定
努力を続け研鑽し
研究者としての日々を
送りながら、教育者として
山梨大学で若者たちに
その探究心を伝え続ける人々の
考え方と日常を紹介しよう。
明日への糧となることを願いつつ。

探究心 研究者



ナシダイ Researchers
山梨大学の研究者達

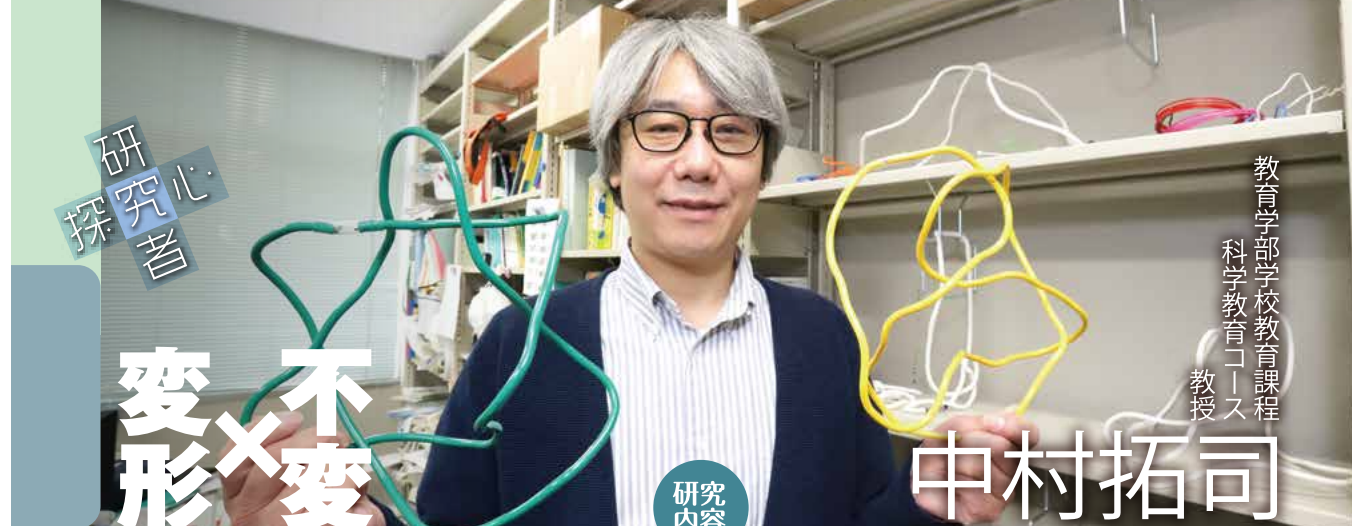
RESEARCHERS OF YAMANASHI UNIV.

vol.9

目次

- 2 中村 拓司(教育学部学校教育課程科学教育コース 教授)
- 3 小島 千か(教育学部学校教育課程芸術身体教育コース 准教授)
- 4 城野 悠志(医学部附属病院放射線治療科・放射線診断科 医員)
- 5 加賀 佳美(医学部医学科小児科学講座 講師)
- 6 中村 高志(工学域国際流域環境研究センター 准教授)
- 7 井上 久美(工学域基礎教育センター 准教授)
- 8 渡邊 幹彦(生命環境学部地域社会システム学科 教授)
- 9 向井 真那(生命環境学部環境科学科 助教)
- 10 兼平 雅彦(総合分析実験センター 准教授)
- 11 佐藤 友香(大学教育センター 特任助教)
- 12 石山 詩織(大学院医工農学総合教育部統合応用生命科学専攻 博士課程2年)
- 13 今井 崇恵(大学院医工農学総合教育部ヒューマンヘルスケア学専攻 博士課程1年)

- 14 男女共同参画推進室の取り組み・制度



「結び目理論」という数学を研究しています。日常で紐を結わえるときに出てくるアレです。数学でいう結び目は、1本の結ばれた紐の両端をくっつけた輪(空間内に埋め込まれた閉曲線)のことです。この結び目が紐を切らずに連続的に変形してほどこけるかなどを数学的に研究するのが結び目理論です。私は特に結び目を部分的に変化させる「局所変形」と結び目の性質を代数的に表す「不変量」との関係について研究しています。

Reason 研究者になったきっかけ

「数学者」という道

高校生の頃から数学者に憧れをもっていました。運よく二人の恩師に出会い、研究者の道に進めたという感じ。大学での抽象的な数学に打ちのめされながら、それまでと趣が異なるトポロジーという数学に出会いました。これは面白いと感じ、4年生でトポロジーの中でも「結び目理論」が学べる研究室を選んだのがきっかけといえます。このときの恩師は落ちこぼれた私をうまく数学の世界に導いてくれました。その恩師が「研究者になるなら」ということで勧めてくれたもう一人の恩師のところへ進学し、数学者としての道が開けました。その後も、同級生や先輩、後輩とのいろいろな出会いがあり刺激を受けながら現在もボチボチやっています。

Recommend 中高生にオススメ

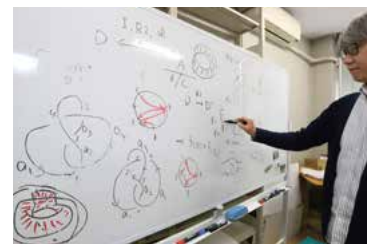
好きなことに没頭する時間

正直にいうとオススメするような具体的なものは何もありません。しいて言えば、自分の好きなことを好きなようにやることをオススメします。もちろんそのためには、他者に迷惑をかけないように好きなことを見つける、日々の中でそれに没頭する時間を作る、それ以外のことを疎かにしないなど、必要なことはいろいろあります。しかし、その工夫が大人になった後にも生きてくるような気がしています。

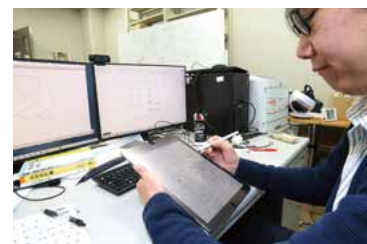
Healing 癒し&気分転換

自分なりの自然体

日々の生活で「癒し」や「気分転換」を強く意識したことはありませんが、それなりに生きていますので、何かに癒され、気分転換もできているのでしょう。お酒を飲みながらダラダラすること、また、昨年約30年ぶりに山梨に帰ってきましたが、毎日のように当たり前に見える富士山などが癒しといえば癒しでしょうか。その前にいた関西では、以前教壇に立っていた中学・高校のバレーボール部指導に毎週末のように行っていました。生徒たちと一緒にバレーすることは楽しく気分転換になっていたのではないかと思います。しかし「さあ気分転換しよう」と思ったことはあまりなく、何か違うことをやり始めたら自然と気分が変わっています。自然にです。



主に図を描いて研究しています。



イメージを理論展開する楽しさを味わいます。



当たり前に見える富士山は山梨にいる醍醐味です。

Background

学歴・経歴

略歴: 慶應義塾大学理工学部数理科学科卒業>>慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程数理科学専攻修了>>神戸大学大学院自然科学研究科博士課程後期課程情報メディア科学専攻修了>>大阪市立大学数学研究所上級研究所員>>大阪電気通信大学工学部基礎理工学科>>現職
取得学位: 博士(理学)

研究者
探究者

音楽×造形

研究
内容

小島千か

教育学部学校教育課程
芸術身体教育コース
准教授

学校音楽教育では、音楽の表現や鑑賞を通してみなさんの人生における可能性を広げることが目指されます。中でも創造性の育成は重要と考えられますが、単に歌を歌ったり楽器を演奏したりして得られるものではありません。そこで、音楽鑑賞で感じたことを言葉ではなく視覚的に表し、視覚的なものを基に音楽をつくる活動を通しての創造性育成法を模索しています。また、音楽の教育や研究をするには、自ら表現することも大切でありチェロの演奏も細々続けています。

Reason 研究者になったきっかけ

音楽と美術の融合をめざして

小学校6年からチェロを習い、漠然とオーケストラの団員を夢見ていた時期もありましたが、大学で学んでいく中で自分には合わないと考えていました。大学4年で教育実習に行ったことがきっかけで、どうしても教師になりたいと思い、大学院で音楽教育を学びました。中学校の音楽科教師をしていた時に1年間だけ美術科授業も担当したことを機に、以前から好きだった美術を改めて勉強し通信教育で美術の免許を取得しました。ちょうどその頃山梨大学に採用され、その採用が研究者になったきっかけです。大学では教育と研究が求められ、それまでの経験を生かして大学生の教育と学校教育の場に役立つ研究ができればと考え、現在に至っています。



音楽科教師免許取得のための授業でチェロも学びます。



やはり教職課程ではピアノは大切です。



我が家のプリンス、大福くん。

Recommend 中高生にオススメ

学校で習った曲を聴きなおしてみよう

授業で興味の持てない曲を聴いた時、自分でもう一度聴いてみてください。聴き馴染むと変わるかもしれません。オススメの1曲は、偉大なチェロ奏者カザルスが弾くカタロニアの民謡《鳥の歌》です。彼は、故郷スペイン内戦以降生涯亡命生活となりますが、常に様々な困窮者を援助し、世界平和を訴え続け、国連本部で「カタロニアの鳥たちはpeace、peaceと鳴くのです」と語りこの曲を演奏しました。彼の信念を持った行動と音楽は、みなさんに勇気と感動を与えてくれると思います。

Healing 癒し&気分転換

切り絵・食・うさぎ

美術の授業をきっかけに切り絵を始め、今でも時々つくっています。一日の中では食べている時が一番好きで、特に夕食後のデザートに癒されます。また、旅は、美しい景色や美味しい名物に感動しますが、それと同じ位、様々な人々との一期一会の出会いが心に残り、休暇が取れると出かけたくります。コロナ禍前6、7年間のマイブームは、好物の牡蠣料理を食べながらの広島県方面への旅でした。お目当ては、大久野島の野生のうさぎたちです。小さい時(記憶のない赤ちゃんの頃)からうさぎのぬいぐるみが大好きだったので、本物にふれあうのはこの時が初めてで、その可愛さに10回近く通いました。昨年うちにうさぎが来ました。我が家のプリンス!

Background

学歴・経歴

略歴：東京藝術大学音楽学部器楽科卒業>>同大学院修士課程修了>>私立中学校・高等学校、公立中学校教諭>>現職
取得学位：修士(音楽)

研究者
探究者

血流×解析

研究
内容

城野悠志

医学部附属病院
放射線治療科・放射線診断科
医師

心血管血流を3次元動画解析できる先端技術「4D-MRI」の臨床応用と基礎的解析を行っています。臨床研究としては、心大血管疾患の流体力学的予後因子を同定する目的で、各種症例の4D-MRIデータを蓄積/分析しています。その際に計測エラーが生じることが度々あるため、基礎研究としては疾患モデル流路を人工的に作成し、種々条件下で4D MRI結果を検証し、計測原理に基づく数理的な原因究明および改善法探索を行っています。

Reason 研究者になったきっかけ

「生命とは何か」

中高生の頃に物理学者シュレディンガーが著した「生命とは何か」を愛読しており、生物学と数理科学双方の見識を可能な限り深めた上でこの究極の問題に取り組みたいと考えていました。そのため医学部へ進学した後、授業の傍ら生命科学および数理科学の研究に取り組みました。卒業して初期研修後、放射線科では研究と臨床を十分両立できることを知り、自分の興味とも近かったため、放射線科医になりました。現在は学際的チーム(医師や技師、プログラマー、数学者)で画像診断関連の共同研究に取り組んでいます。まだまだ未熟ですが、今の研究過程で自分の力をさらに高め、共同研究者との繋がりを深め、今後の研究に備えたいと思います。



最先端のMRIを活用しています。



研究の過程で知識を深めます。



大菩薩峠にて、登山メンバーと。

Recommend 中高生にオススメ

お金の理解と人生設計

日本の近代史や政治、お金について、正しい知識を若いうちに学ぶことをオススメします。ここ30年で日本の世界における立ち位置は大きく変わり、当たり前だった豊かさが当たり前でなくなりつつあります。この事実を真摯に受け止め、先手先手で人生設計していくことが、将来の自分を守ることに繋がると 생각합니다。書籍のほかYouTube含むWeb上でも良質な情報が転がっていますので、ぜひ探索/審議してみてください。

Healing 癒し&気分転換

臨床業務と外遊び

放射線科での臨床業務(画像診断や血管内治療)がとても面白く、研究生活の気分転換になっています。私は運動が好きのため、外病院への通勤も楽しんでます。また今はコロナ禍であまりチャンスがないですが、国内外の学会に出かけることも楽しみです。仕事仲間との飲み会も大好きなので、気兼ねなく行ける日が来ることを心待ちにしています。仕事以外の趣味はランニングで、平日夜や週末など週30kmほど走っており、医局のマラソン部員です。最近ではゴルフの練習を始め、いつかは医局行事「大西杯」に参加できるよう励んでいます。医局の登山メンバー入りも果たしており、どんどん趣味が広がっています。

Background

学歴・経歴

略歴：山梨大学医学部医学科卒業>>山梨大学大学院医学工学総合教育部生体制御学専攻修了>>現職
取得学位：博士(医学)

研究者
探究心

神経×発達

研究内容

加賀佳美

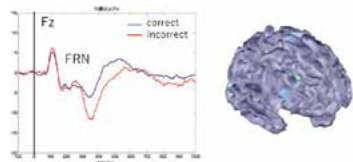
医学部医学科小児科学講座
講師

神経発達症(発達障害)のお子さんの病態を解明する研究をしています。神経発達症は、症状診断ですが、保護者からの主観的な評価が中心となるため、客観的バイオマーカーがないことが問題となっています。そのため脳波や脳血流などの生体信号を解析しバイオマーカーを探索しています。また神経発達症の方々は、それぞれその症状は異なるため、オーダーメイドの支援が必要とされています。その支援が速やかに的確に差し伸べられるように活動しています。

Reason 研究者になったきっかけ

患者さんを幸せに

家族に障害者がいたため、医療や福祉に近い位置づけにありました。山梨で育ちふれあう中で、障害者が暮らしていくためには不便なことも多く、小児医療も決して整っているとは言えない状況でした。山梨の医療、福祉をもっとよくしていきたいと思ったのが医師になるきっかけです。大学を卒業して迷わず小児科を選び、特に小児神経を専門としました。色々な障害のあるお子さんたちにふれあううちに、そのお子さんを取り巻く人たちにも幸せになってもらいたいと思うようになりました。私の行っている研究は、ノーベル賞をもらえるような研究ではありませんが、臨床に直結した研究であり、すべての患者さんの幸せのためにあると信じて研究しています。



患者さんの脳波を解析して、その特徴を調べます。



課題施行中の脳血流変化を近赤外線スペクトロスコピー(NIRS)で調べます。



週末は子どもたちとスキーに出かけます。

Recommend 中高生にオススメ

積極的な実験

「百聞は一見にしかず」という言葉があるように、できるだけ見たり聞いたり、その場所に訪れて知ることが大事だと思います。学生の頃は、海外や日本国内、いろいろなところへ旅行していました。特に、アメリカ留学中に得た経験は、今でも自分の中の価値観や考え方を大きく変えたものだと思います。なかなか外出が出来ない今日この頃ですが、積極的に色々な人の話を聞いたり、見たりして自分が経験し感じることが重要だと思います。

研究者
探究心

地下水×水質

研究内容

中村高志

工学域国際流域環境研究センター
准教授

普段目にすることが少ない“地下水”の水循環や水質の特徴を調べて、良質な水資源を持続可能な方法で活用するための研究をしています。あらゆる地下水に興味があり、深さ数m~50m程の浅井戸の水、50~300mの深井戸の水、数百m~1500mの温泉水、地下数十kmのマンツル近くから上昇してくる“深部流体”といわれる得体の知れない水など、いろんな地下水をターゲットに、地下水の起源や年代を推定できる同位体の観測や、水質の高感度分析をしています。

Reason 研究者になったきっかけ

様々な出会い

小・中学校の頃はいつも外で遊んでいて、何かになりたいと思ったことはありませんでした。高校生になっても相変わらずで、ただ漠然と化学や環境に興味があったので大学は理学部の環境系学科を選びました。4年生の時、卒業論文の研究に夢中になりました。指導教員の故・佐竹洋先生は研究を好きにさせる名人だったからです。大学院を意識し始めた頃、山梨大学の風間ふたば先生に出会いました。卒論で習得した技術を受け入れて頂き、複数の研究者とチームで研究をする機会を得ました。その時のメンバーが今の同僚や仲間達です。僕はなりたいたい何かで執着したことはありません。刺激し合える多くの人に会い、流れ着くように研究者になりました。



フィールドワークと分析技術が大切。



仕事の友人も、仕事以外の友人も宝物。



目標のために訓練も大切。

Recommend 中高生にオススメ

「違いを認め合う」映画

おすすめ映画を選んでみました。まずは「バック・トゥ・ザ・フューチャー1~3」。一作目の公開は1985年ですが、今でも人をワクワクさせる超大作。こんな物語が創造できるなんてマジ神!次は「オーシャンズ11」と続編の12、13それに8。人はそれぞれ違っていいんです。大切なのは互いをリスペクトしチームが一つになること!一押しは2011年の“最強のふたり”。自分とは違う立場の人と、ありのままに接することが大切なんです!

Healing 癒し&気分転換

自然満喫&息子たち

山梨は自然豊かなところ。きれいな空気と水、そして雄大な自然があります。大学時代天文部に属していましたので、現在は自宅から星空を眺めています。また雄大な自然を楽しむため、冬はスキーによく行きます。できるだけ外来にくる子どもたちと同じ目線でお話ができるように、息子たちからゲームやYouTube、最近の子どもたちの話題を教してもらっています。コロナ禍でなかなか外出が出来ないので、家の中でダンス、卓球、パドミントンなども試みました。一緒にアニメや映画をみたり、ゲームをしたり、コンサートに行ったりしていますが、最大の私の癒しはやっぱり3人の息子たちと過ごすことです。

Background

学歴・経歴

略歴:山梨医科大学医学部(現山梨大学医学部)卒業>>山梨大学医学部大学院修了>>山梨大学医学部小児科入局>>国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部>>現職
取得学位:博士(医学)

Healing 癒し&気分転換

食&人との関わり

気分転換は、キャンプ、肉、クラフトビール、自転車、無尽です。家族と楽しめるキャンプで肉とビールを摂取しています。近い将来、自転車に道具をくくりつけてキャンプへ行きたいので、トレーニングも兼ね自転車通勤で茅ヶ岳の麓を疾走しています。無尽では、経歴も職業も全く違う幼馴染らと2ヶ月に1度会っています。お寿司屋さんで集まり、続けてラーメン屋さんへ。その後「替え玉」と言いながら、なぜか2軒目のラーメン屋さんへ…。明らかに食べ過ぎですが、友人となら楽しさがカロリーを攻撃して0カロリーです。コロナ禍で1年以上会えていなくて残念ですが、家族や友人と美味しいものを食べられることが僕の癒しです。

Background

学歴・経歴

略歴:富山大学理学部生物圏環境科学科卒業>>山梨大学大学院医学工学総合教育修士課程循環システム工学専攻修了>>同博士課程環境社会創生工学専攻修了>>山梨大学・国際流域環境研究センター研究員>>同特任助教>>同(工学部・土木環境工学科)助教>>現職
取得学位:博士(工学)

研究者
探

生体×分析

研究内容

井上久美

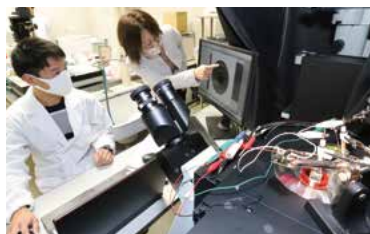
工学域基礎教育センター
准教授

「バイオを測る・バイオで測る」をテーマに、主に生体関連分子をターゲットに、測りたいものをできるだけ簡単に測れるセンサづくりの研究をしています。今、特に力を入れているのは、細胞同士のコミュニケーションを可視化できるイメージングデバイスの開発です。どうすれば見えないものを見ることができるか、どうすればもっと高感度になるか、もっと簡単に測れるか、を追求し、まだ世界にない新しい分析方法を創出しています。

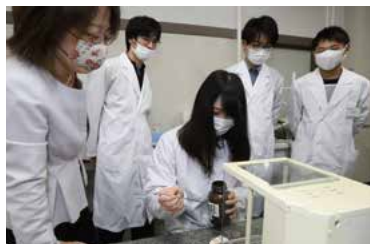
Reason 研究者になったきっかけ

勉強はこりこりだったのに

私の経歴はちょっと変わっていて、はじめから研究者を目指していたわけではありません。研究者の父に自由研究の手ほどきを受けていたこともあり、大学で研究に興味はありました。しかし、もう勉強はこりこりで、卒業して、子育てをしながら小さな食品組合の分析員になりました。組合では好きなように研究もさせてもらっていましたが、9年半もすると、きちんと勉強しないとこれ以上の研究はできないと思うようになり、再び大学の門を叩きました。研究者になりたいという強い思いがあったというよりは、なりゆきと運でしたが、周りの方に支えられ、楽しく研究を進められる環境にあったことが、研究者になったきっかけと言えるかもしれません。



微細な電極をたくさん並べて顕微鏡素子にし、発光を捉えて可視化します。



学生さんたちに経験していただくのも大切ですね。



スキーに行くのが小さい時から好きで、大学もスキー部、夫はスキー部の先輩です。

Recommend 中高生にオススメ

「希望&体験」からの出会い

私自身は中高一貫の女子校で、校則で学校帰りの寄り道も禁止、時間があれば大学受験に向けて勉強、でした。実際は勉強するふりをして寝ていましたが、もっといろいろなことを経験したかったという後悔があります。やるべきことをちょっと脇に置いて、やってみたいことに挑戦するといと思います。いろいろな人やコトと出会って、自分と世界の接点を広げ、自分と世界の間を肌で感じて、向き合い方を考えてほしいと思います。

研究者
探

経済×自然

研究内容

渡邊幹彦

生命環境学部
地域社会システム学科
教授

「経済学で生物多様性を守る」研究をしています。生物多様性には、「生態系サービス」という我々の生存に不可欠な機能があります。この典型例として、水源林が我々に水を安定的に供給する機能があります。「水源林を保存することに、どれぐらい経済的価値があるのか」を研究しています。この経済的価値がわかれば、水源林の所有者が、そこからの水の利用者から、保全のための対価を受け取る仕組みができて、持続可能な状態で水源林が保全されます。

Reason 研究者になったきっかけ

環境を守るための経済学

国際環境条約である「生物多様性条約」の交渉に政府代表団員として参加する経験を得ました。その経験を通じて、「専門的知識と語学知識を若い世代に伝えなければいけない」と痛感したことが、研究者になったきっかけです。高度な専門的知識を持つ人は、大勢います。語学に堪能な人も、大勢います。ただ、これらの両方を持っている人は、意外と少ないのではないのでしょうか。日本は資源の少ない国で、諸外国と友好的に付き合ったり、時には、自国が少しでも有利になるように交渉したりしないと、生存できません。これらのために、研究者として自身の専門的知識を深めて、それを語学教育と連動させて若い人に伝えようと、日々努力しています。



蔵書については、洋書が多いです



研究室の学生たちは、熱心に経済学に取り組んでいます。



CDの収納ラックが、こんな感じです。

Healing 癒し&気分転換

音楽とコーヒー

音楽を聴くことが趣味です。聴くのは、クラシック、ジャズ、1970~80年代のロックです。CDを、約2,000枚所有しています。オーディオ装置も、好みのものをそろえています。休みの日に、ゆっくりと起きて、熱いコーヒーを飲みながら、好きな曲をCDで再生して聴き入る時間が、一番幸せな時間です。これから、寒い時期に、窓から入ってくる日光を浴びながら、バッハの長調の曲を聴くと、「生きていて幸せだなあ」という気分になります。

Background

学歴・経歴

略歴：京都大学農学部農芸化学科卒業>>宮城県味噌醤油工業協同組合共同研究員>>東北大学非常勤職員>>東北大学大学院環境科学研究所環境科学専攻修了>>東北大学マイクロシステム融合研究開発センター助教(東北工業大学非常勤講師兼業)>>東北大学大学院環境科学研究所准教授(COI東北拠点研究リーダー補佐兼務)>>現職(センスチップ株式会社取締役兼業)
取得学位：博士(学術)

Recommend 中高生にオススメ

外国語を身につける

外国語を身につけることを、強く推奨します。最初に身につけるのは英語でかまいません。大事なことは、外国語「を」勉強することを最終目的にするのではなく、外国語「で」何かをすることを最終目的にすることです。私自身、イギリスの大学院を修了しました。とても大変でした。でも、もし、また生まれてきたら、最初にすべきこととして「外国語『で』勉強すること」と手帳に書くと思います。かけがえのない経験ができるからです。

Background

学歴・経歴

略歴：横浜国立大学経済学部国際経済学科卒業>>University of Glasgow, Centre for Development Studies修了>>横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期修了>>日本総合研究所>>名古屋大学大学院環境学研究所国際環境人材育成プログラム>>現職
取得学位：
学士(経済学)
Master of Philosophy in Economic Development
博士(学術)

研究者
探

森林×環境



生命環境学部環境科学科
助教

向井真那

研究内容

陸上で最も生物多様性が高い森林に着目し、様々な環境条件のもとで森林生態系の物質循環が成り立つ仕組みを生物地球化学的な観点から研究をしています。特に直接目に見えない森林の地下部では、樹木の根や土壌、土壌微生物間でどのような相互作用が見られるのかということに興味があります。現在の森林についての科学的知見を蓄積することは、気候変動などが将来的に森林生態系の維持機能に与える影響を予測することにも役立つと考えています。

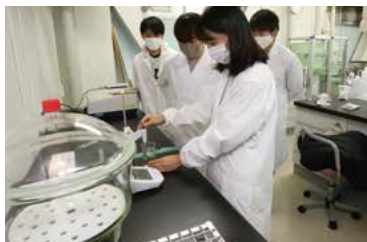
Reason 研究者になったきっかけ

研究からの発見

研究活動を通して森林生態系の複雑さゆえの奥深さを感じたことがきっかけです。私の研究分野ではフィールドワークがとても大切です。森林に入って調査をすると自然の壮さを感じずにはられません。一見無言で静かに立っているように木々も、根を張ったその環境で生産性を維持するために、様々な工夫をして隣の木などと競争や協力をしながら生きています。そんな樹木の生きる戦略を知ると、他の戦略についても知りたくなります。このワクワク感が私の研究欲をかきたてていると思います。予想とは違う結果が得られ、研究を通して森が出してくる答えは奥深く難解だと困ることも多々ありますが、これも研究を続けられる原動力となっています。



まずは野外で採取した土壌サンプルを観察。



学生さんに分析の方法をレクチャー。



森林の土壌から根を丁寧に掘り出しています。

Recommend 中高生にオススメ

好奇心旺盛に挑戦

学生のときは自分の個性を知るために、好奇心旺盛に様々なことに挑戦すると思います。勉強、部活動、ボランティア、留学など、なんでもいいです。誰でも得意なものや苦手なもの、好きなことや嫌いなことはあって、それは他の人と違っていても全然構わないと思いますし、むしろ違うのが普通です。チャレンジしていく中でその中で一つでも一生懸命になれるものと出会えたら幸せで、皆さんの今後の人生は豊かになるはずですよ。

Healing 癒し&気分転換

登山とバドミントン

もともと体を動かすことは好きで、最近は山登りとバドミントンが気分転換になっています。特に最近では人がいるところは行きにくいので、週末は勉強も兼ねて山梨の山に出かけています。図鑑を片手に登山道の樹木を観察しながら登るのが楽しいです。登り切った後の頂上から見える景色は格別です。山梨は山へのアクセスがとても良いので、いつ思い立ってもすぐに山や森に行けるという贅沢を身にしてみています。また、山梨大学に来てからは高校時代にやっていたバドミントンも始めました。スポーツで汗を流すとリフレッシュできて気持ちいいです。高校時代を思い出して懐かしい気持ちにもなります。

Background

学歴・経歴

略歴：京都大学農学部森林科学科卒業>>京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻修了>>国立研究開発法人国際農林水産業研究センター特別研究員>>現職
取得学位：博士(農学)

研究者
探

生命×解明



総合分析実験センター
准教授

研究内容

兼平雅彦

これまで、感染症、免疫、がん、老化、肺移植などの研究に従事してきました。基本的には、面白そうなものには取りあえず飛びつくというスタイルです(笑)。今は「がん細胞が免疫から逃れる機構を逆に取って、臓器移植の拒絶反応を抑制できないかな。」なんて漠然と考えています。あとは、約25年前、祖母が転倒して寝たきりになったこともあり、加齢に伴って生じるいろいろな疾患を薬で治す(もしくは遅らせる)研究も少しずつ進めています。

Reason 研究者になったきっかけ

凝り性を活かす

子供の頃からおもちゃを分解したり、わからないことを先生や親に納得いくまで質問していました。両親曰く、「凝り性」な子供だったようです。実は、大学時代の成績はお世辞にも優秀とはいえませんでした。研究室に出入りするようになったのも、教授に追試の結果を聞きに行った際、「研究室に来てみないか?」と誘われたのがきっかけです。前日に仮説を立てて当日実験し、翌日に検証するという繰り返しの日々が意外にも楽しかったですね。その時の教授は、私を学生ではなく一人の研究者として接してくれました。好きな研究がそのまま仕事になればいいなと思い、研究者を志しました。その時に出会った助手の先生(故人)に心酔したのも一因です。

Recommend 中高生にオススメ

夢に向かって日々努力を

「きつと、うまくいく」というインドの映画がオススメです。人生に必要なものは「自分が一生懸命になれるもの」と「それを信じて応援してくれる仲間」であることを教えてくれます。あと、ジャンルを問わず、とにかく色々な本を読みましょ。語彙力や文章力は読書量に比例するといわれています。物事を論理的に考えるお手本にもなります。私からは、少し古いですが、水野敬也さんの「夢をかなえるゾウ」という本をオススメします。



デスクのフォトフレームには家族の写真。



スタッフとのコミュニケーションも大切です。



ニューオーリンズ名物のクローフィッシュ(ザリガニ)を同僚達と食べました。

Healing 癒し&気分転換

掃除・旅・YouTube

週末に半日かけて部屋の掃除を行って気分転換(リセット?)します。休日も平日とほぼ同じ時間に起きます。午後はコーヒーを飲みながら本を読んだり、研究のアイデアを出したりします。基本的にインドア派ですね。一時期はジョギングもしていましたが、膝を痛めたので、部屋でエアロバイクを漕いでいます。あと、学会等でいろいろな場所に出張するたび、美術館に足を運んだり、その土地の名産品や名物料理をチェックします。最近は、人生の節目の時(入学、卒業、就職、結婚など)に流行っていた音楽をYouTubeで聞いています。「あんなことがあったな。」とか、忘れかけていた記憶が蘇って、ちょっとしたタイムスリップ気分を味わっています(笑)。

Background

学歴・経歴

略歴：岩手大学農学部獣医学科卒業>>東北大学大学院医学系研究科博士課程修了>>東北大学加齢医学研究所博士研究員>>Texas A&M Health Science Centerポスドク>>宮城県大河原家畜保健所>>東北大学病院助教>>東北大学加齢医学研究所助教>>現職
取得学位：博士(医学)

研究者
探

領域×連携



大学教育センター
特任助教

佐藤友香

研究内容

数理・AI・データサイエンス教育の普及のためのコーディネーターとして、山梨県内の他の大学との連携や、社会人の学び直し講座を企画・実施しています。他に、教育関連プロジェクトとして、オンライングループワークに学生ファシリテータや仮想空間アプリを導入する実証実験や、SDGsとデータサイエンスを結びつける教材開発、そして学生アンケートと成績に関するデータの分析なども行っています。

Reason 研究者になったきっかけ

好きな事を仕事に

中高校を含めて学生時代から、働くことと好きなことを近しくするには、ということを考えていました。最初の就職先が公立自然史博物館の昆虫担当学芸員でした。昆虫採集や展示企画などの業務の他に助成金を得て研究していました。正職員でしたが退職して沖縄に行ったのを皮切りに、日本を2周半ぐらいして山梨大学に着任するまで民間企業も含めて様々な仕事を経験したことにより、研究者以外のアイデンティティもあります。一つのことを突き詰めて研究者になったというよりも、「好奇心」を突き詰めたら専門分野が拡大してゆき、様々な分野のつなぎ役を果たすことになりました。それぞれで多領域が交差しうる「博物館」「政策」「データ」が自身の活動キーワードです。



学外の社会人も広く対象にして、初級のデータサイエンス講座を行いました。



教育関連プロジェクトとして学生ファシリテータにグループディスカッションに関する研修を行いました。



食べた後の豆苗を再生させて徒長させると花が咲きました。閉鎖花内で自家受粉し、種がなりました。

Healing 癒し&気分転換

多角的な日常そのもの

自然史分野の博物館に関する仕事も、研究や学芸員課程の非常勤講師として継続しています。フィールド調査で植物や昆虫を採集して標本にしたり、調査地の地元関係者の方と話をすることを楽しんでいます。コロナ禍以前は、古い戸建てのリノベーションや重厚感のある家具集めもしていました。これらも博物館的な感覚かもしれませんが、古きよきものを再度活用できればと思っています。

癒しは花や動物を見ることです。食べた後の豆苗を再生させて開花、結実まで見届けるだけで結構満足しました(笑)。梨大に着任する前の最大の気分転換は、着ぐるみアクターの仕事でした。今後はこれに代わる新たな趣味を見つける必要がありますね。

Background

学歴・経歴

略歴：北海道大学医療技術短期大学部衛生技術学科・農学部生物資源科学科卒業>>東京大学大学院農学生命科学研究科中退>>福井市自然史博物館>>(中略)>>東京医科歯科大学大学院医療管理政策学コース修了・博士課程満期退学>>現職
取得学位：修士(医療政策学)

Recommend 中高生にオススメ

美しい図鑑と胸の高鳴る映画&音楽

『Newton別冊 統計パズル』はオールカラーでイラスト豊富、ゲームで騙されたくないあなたにオススメです。『美しい「歳時記」の植物図鑑』は、植物の和名の由来やそれが詠まれた古典も載っています。映画は「バック・トゥ・ザ・フューチャー」と沖縄の「ナビの恋」、観終わった後味がよいとスッキリしますね。音楽は「THE BLUE HEARTS」。Mongol 800を経てMrs.Green Appleにつながる系譜も感じてほしいですね。若気の憂いや反発心を持つのも大事です。

研究者
探

妊娠×栄養

研究内容

妊娠期の飢餓状態すなわち胎生期低栄養状態を経て産まれた子は、出生時体重が低く、また出生後約50年ごろに心血管イベントをはじめとする様々な生活習慣病に罹患しやすいという疫学の成果から、胎生期の栄養環境が出生後の健康に影響を与えるDOHaD(Developmental Origins of Health and Disease) 学説が提唱されています。私はこの学説に基づいて栄養不良培地での受精卵の体外培養により作出されたモデルマウスを用いて、2型糖尿病や脂肪肝および糖尿病性腎症などの生活習慣病病態の大変による抑制効果を解明する研究を行っています。

Reason 山梨大学を選んだ理由

院生を支援するシステム

山梨大学では大学院生を対象に、発展性のある諸学融合の大学院「特別教育プログラム」によるグローバル社会で活躍できる人材の育成事業を展開しており、現在私は4領域のあるうちの「発生活工学技術開発・実践」領域に参加しています。自分の専門は栄養学ですが、研究内容は栄養学と発生活工学を融合させて行っているため、研究発表などで自分の分野外の知識や考え方をいただき、それが刺激や活力となっています。特別教育プログラムを中心に、山梨大学の先生方は研究だけでなく、教育にも熱心で、他研究室の学生である自分の研究に対してご指摘・ご指導いただき、非常に恵まれている環境だと感じています。



実験は段取りと清潔環境維持が大切です。



同じ部屋の仲間とのディスカッションも楽しいです。



帰省時は近所の放し飼い犬にいつも癒されています。

Healing 癒し&気分転換

自然と動物

行き詰った時には身体を動かすことでスッキリして再開できることが多いので、ストレッチや軽い筋トレを組み合わせてやっています。また紅茶を中心にお茶全般好きなので、気分によって飲み分けることで気分転換になります。残念ながらコロナの流行初期に山梨に来たため、外出できていませんが、機会があれば山梨の各地を回ってみたいと思います。

Background

学歴・経歴

略歴：大阪府立大学地域保健学域栄養療法学専攻卒業>>静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学博士前期課程修了>>山梨大学大学院農工農学総合教育部博士課程統合応用生命科学専攻生命科学コース在籍
取得学位：修士(食品栄養科学)

大学院農工農学総合教育部
博士課程
統合応用生命科学専攻
生命科学コース
2年

石山詩織

研究
探
究
心
者

教
員
×
健
康

研究
内容

今井崇恵

大学院医工農学総合教育部
博士課程
ヒューマンヘルスケア学専攻
1年

学校教員の多忙化やストレスに関する研究を行っています。現在、学校の先生たちが病気で休職してしまう割合が年々増加傾向にあります。その状況をなんとかしたいと思い、研究を始めました。実際に、学校の先生たちにインタビューをして、困っていることや悩み、学校現場の状況を聞き取り、分析しています。また、ビッグデータを用いた分析も行いながら、ストレスになっている要因を検討し、教員が健康で働くことのできる方法を探究しています。

Reason 山梨大学を選んだ理由

他の学部知識も得られる

新たな分野にチャレンジすることができたからです。もともと私は、教育学科で学んでいたのですが、学校教員のメンタルヘルスについて研究する時、教育の分野だけでなく、医療や保健の分野にも重なる問題だと思ったため、山梨大学で学ぶことがよりよいと思い入学しました。この大学では、医学部の先生たちから、研究手法等を学ぶことができるだけでなく、教育学部の先生にも研究のご相談ができ、研究をよりよいものにしていけると思っています。医工農学総合教育部では、他分野の先生方との交流もあるため、一つの分野だけでなく多様な分野の知識を得ることができます。それが、研究上の新たな問いや発想につながっています。



教員の方に取材させていただいたりします。



論文作成には早いPC入力スキルがオススメです。



お散歩コースの湯村山。四季が楽しいです。(初冠雪!!)

Recommend 中学生にオススメ

じっくり読める深く長い物語

ミヒャエル・エンデの作品で、『モモ』はオススメです。小学生でも読むことができる本なのですが、非常に奥が深く、大人になってからも読み返すような本です。『モモ』の作品では、時間とは何かということを考えさせられます。私は、いつも焦ってしまいがちなのですが、そういうときほど、『モモ』の作品を思い出し、ゆっくりとした時間をもてるように心がけています。他にも、『はてしない物語』もおすすめです。

Healing 癒し&気分転換

山の中での時間

私にとっての癒しや気分転換は、山に登っているときです。近所に湯村山があり、時間がある日は、よく登ります。山で、花や木を見たり、森林浴をしたりしていると、癒されます。湯村山は、春夏秋冬登ることができるので、季節ごとに楽しむことができるのも魅力の一つです。研究で行き詰まったり、疲れたりしたときは、湯村山に登るようにしています。

湯村山だけではなく、時々、違う山にも登ります。要害山や北奥千丈岳はこの夏に登った山です。いつも登る湯村山とは違って、長く歩くコースで、1日ばかりでゆっくり登りますが、長く歩くと体の中の循環が非常によくなり、リフレッシュされます。

Background

学歴・経歴

略歴：埼玉県立秩父高等学校卒業>>大東文化大学文学部教育学科卒業>>山梨大学特別支援教育特別専攻科中退>>山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程生命医科学専攻卒業>>山梨大学大学院医工農学総合教育部博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻在籍
取得学位：修士(生命医科学)

主な
取り組みの
紹介

山梨大学

男女共同参画推進室



ホームページ随時更新中。
当室ホームページでは、各種コンテンツを掲載しています!
<https://danjo.yamanashi.ac.jp/>

両立可能な環境の整備

◆キャリアアシスタント制度

ライフイベント中の研究者へキャリアアシスタント(通称C A)と称する、実験や論文検索などの研究活動を補助するサポーターを派遣。

◆女性研究者のための産休・育休からの復帰支援制度

産後の特別休暇、および育児休暇から職場復帰した女性研究者に対し、研究助成金を支援。

◆女性研究者のための論文投稿費と英文校閲費支援制度

ライフイベントにより研究活動が停滞した女性研究者の論文作成に伴う経済的負担を支援。

◆社会福祉法人宮前福祉会 宮前保育園と連携した育児支援

宮前保育園の一時預かり事業、病児・病後児保育事業、休日保育事業と連携し、学内の育児支援を実施。山梨大学の教職員・学生なら誰でも特別料金にて利用可能。また、学内に学会や研修会等を開催する際には、保育士の派遣も利用可能。

次世代研究者の育成

◆山梨大学男女共同参画 学術研究奨励賞

女性研究者を顕彰することによりその研究意欲を高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進等に資することを目的とする顕彰制度。

◆キャリアアシスタント制度を通じた研究職希望者の育成

「両立可能な環境の整備」でも紹介したキャリアアシスタントは、研究者の仕事の間近で見られるうえ、将来のライフイベント時における仕事の在り方を具体的にイメージすることができ、研究職を志す学生におすすめ。

◆C o の花フェローシップ

将来を担う創造性に富んだ女性研究者の育成に向け、研究に専念できる環境の提供とキャリアパスの確保を支援。大学院博士課程に在籍する優秀な女子学生に対し、研究専念支援金及び研究費を支給。

交流の場と情報の提供

◆交流スペースの設置

誰もが気軽に利用できる交流スペースを設置。研究者・職員・学生同士の情報交換や交流、ライフイベントに関する情報の収集と交換の場として利用可能。

学内連携の強化

◆学内の人的ネットワークの強化による環境整備

学内に設置されている様々な支援室やセンター、委員会等とのネットワークを強化し、山梨大学が「誰もが働きやすく、学びやすい環境」であり続けるための提案や取組を実施。

◆意識改革&スキルアップのためのセミナー・講演会

学内の意識改革や教職員・学生のスキルアップのために、各種セミナーや講演会を実施。



女子中高生の理系進路選択支援プログラム

国立研究開発法人科学技術振興機構(J S T)の次世代人材育成事業である「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」(令和2年度)に採択され、様々なイベントを実施。

- ◆出前講義(ドローン、プログラミング)
- ◆ガールズサイエンスcafe ※
- ◆夏期・冬期プログラミング集中講座 ※
- ◆理工系Web講座 ※
- ※令和3年度はオンラインにて実施。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

文部科学省の科学技術人材育成費補助事業である「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」(令和2年度)に採択され、シミックホールディングス株式会社と株式会社はくばくとともに様々な研究者支援の取組を実施。

- ◆ダイバーシティ研究環境整備のための取組
- ◆女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組
- ◆女性研究者の上位職への積極登用にに向けた取組
- ◆地域社会への波及とイノベーション